

## 平成 26 年度事業報告詳細

特定非営利活動法人日印教育支援センター

### 1 事業の成果

インドへの教育支援を行うとともに、その広報活動、講演活動、募金活動、教育交流活動、およびそれらに付随する活動を行った。

### 2 事業の実施に関する事項

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	(A)実施日時 (B)実施場所	報告内容
①各種イベント、講演会の企画・運営に関する活動	京都府教職員互助組合総会	(A)6月9日 (B)京都	日印教育支援センターの活動に関する講演会を行い、国際協力・海外支援へ関心を持つ機会を提供するとともにインド学校支援を呼びかけた。
	立命館大学学校教育研究会春季大会	(A)11月30日 (B)京都	立命館大学学校教育研究会秋季大会分科会において当NPO理事が表現力、そろばん、インド等について講演した。
②文化交流の企画・実施に関する活動	インドの学校支援チャリティのための音楽と舞踊コンサート	(A)5月25日 (B)京都	チャリティのための音楽と舞踊コンサート「天女座100万人とふれあうコンサート」を開催した。理事・会員の方々のご協力で、日本とインドのそれぞれの文化を感じられる充実したイベントとなった。
③インドの学校訪問スタディツアーの企画・実施に関する活動	現地でのボランティア活動を実体験するスタディツアーを行う。	(A)年1回 (B)インド	今年度はスタディツアーとして実施せずに、そろばん指導者、大学生の教育実習等、個別の目的で学校視察支援、交流を行った。
④学生の海外ボランティア活動の企画・実施に関する活動	大学生が現地でのボランティア活動を実体験する場を提供する。	(A)2月 (B)インド	立命館大学教員採用内定者3名がインド支援学校で教育実習を行い、今後の日本の教育との架け橋として活動した。
⑤修学旅行の企画・立案、ホームステイの提供に関する活動	国際的視野を広げる目的の修学旅行の企画・立案、ホームステイの提供を行う。	(A)なし (B)	本年度は実施しなかった。 今後広報活動を行い、国際的視野を広げる取組を学校現場に広げたい。

⑥インドの学校支援と日本とインドの教育の交流に関する活動	インド無料教育校への自立支援のため、そろばん教育の一層の指導充実。	(A) 12月 (B) インド	インド支援学校のそろばん教育の充実発展のため、そろばん塾の教師が日本珠算連盟準拠のそろばん検定試験を学校で行った。目標設定ならびに達成感を子どもたちは持つことが出来た。試験問題、試験方法を現地の教師たちに教え、継続指導・継続検定が行えるようになった。今後日本のそろばん指導者を派遣し、インド初の日本式そろばん拠点校として発展させていきたい。
------------------------------	-----------------------------------	--------------------	--

(2) その他の事業

事業名	事業内容	報告内容
①インドの子どもたちの手作り品の販売	インドの子どもたちの職業訓練を兼ねた手芸品の制作、作品の販売を行う。	製作に携わる人材確保・経費等の課題があり、実施が困難と判断したため、本年度は実施しなかった。
②インターネットを利用した通信販売に関する活動	不要書籍等を回収し、通信販売を行う。	昨年度から回収を開始したが、販売に必要な量がなかなか集まらず、ならびにネット販売は行うことが出来なかった。

(3) 事務局

事業名	事業内容	(A) 実施日時 (B) 実施場所	報告内容
① 広報活動	会報発行 広報活動の充実  ホームページ開設・更新	(A) 随時 (B) 事務局  (A) 随時 (B) 事務局	白い象の学校通信を発行してきたが、紙媒体よりもFacebookでの広報がより多くの方々に知っていただけるため、Facebookを開始した。新聞やラジオ・テレビなどマスコミを利用し活動を広報することが出来た。  ホームページを随時更新していった。Facebookを開始し、新しい情報を伝え、インドの学校の様子をタイムリーに伝えることが出来るようになった。
② 資金調達の取り組み	会員の拡大と活動の活性化	(A) 随時 (B) 事務局	8月6日に会員の交流を図るための懇親会・京都の旅を開催した。積極的に活動に協力して下さる方々の入会が相次いでいる。

③認定NPO法人化	寄付活動の拡大 他団体との協力関係を推進	(A) 随時 (B) 事務局	資金調達はなかなかむずかしかった。そうした中で、NPO法人春華倶楽部悠久の会から給食費の支援が1年間続けられ、午後からの授業を充実したものにする事ができた。子どもたちの栄養面・健康面も向上した。 支援を呼び掛ける方法を工夫し、インド学校運営の安定化に努めたい。
	図書館・理科室整備 のための資金助成	(A) 3月 (B) 事務局	図書館教育ならびに理科教育充実のため、大阪コミュニティ財団に助成金申請を行い、海外の学校支援の分野で選出され、100万円の助成を受けた。平成27年度に完成させる予定。
	認定NPO申請への取り組み		認定NPO申請は、多大な負担になることがわかり、実施しないことにした。